

アークフラッシュ施工された老人施設からは6年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<<通販開始>> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

<<アークフラッシュ指導員講習会のお知らせ>>

アークフラッシュの指導員の定期講習会を本部にて3月19日(日)の午後1時より開催いたします。

指導員の方、指導員を目指す方は是非、参加ください。

<<インフルエンザ情報>>

集団風邪: 2学級閉鎖 - - きょう静岡と三島で / 静岡

県は23日、インフルエンザによる集団風邪で静岡市清水区の1小学校、三島市の1幼稚園の2学級が24日に学級閉鎖すると発表した。該当するクラスでは23日、在籍64人中38人が欠席した。

仏東部で2例目の高病原性鳥インフルエンザを確認

フランス農業省は、同国で2羽目の野生のカモが高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)に感染していると診断されたことを明らかにした。感染確認は国内で2例目。問題のカモは19日、東部アン地方で死んでいるのが発見された。同省は22日遅くに声明を発表し「(この鳥から検出されたウイルスは)18日にジョワイユで発見された鳥から検出されたものと99%一致する」と述べた。

<<花粉情報>>

花粉: 今年... 飛散、例年の3分の1 でも要注意、敏感に反応の人も

気になる花粉、今年は...

気になる花粉、今年の飛散状況は。甲府市内でのスギ、ヒノキの花粉の今年の予想飛散量は過去2番目に多かった昨年の10分の1、例年の3分の1にとどまる見通しであることが県衛生公害研究所の調査で分かった。スギ花粉は飛散が始まっており、昨年の大量飛散で花粉症を発症した人は今年の花粉量でも過敏に反応する可能性があり、医療機関はマスク着用などの対策を呼びかけている。一方、県は来年度、県有林に花粉の少ないスギを植林する対策に乗り出す。

同研究所によると、昨夏の日照時間が短かったためスギ、ヒノキの花芽が少なく、同市内での予想飛散量は1平方センチあたり約1200個と、観測史上2番目に多かった昨年(約1万3000個)の10%程度になると予想。今月13日に飛散を始めたスギは3月中旬が、3月中旬に飛び始めるヒノキは4月がそれぞれピークになる。

井上内科小児科医院の井上利男院長によると、炎症を起こしたのどや鼻からインフルエンザに感染するケースもあるといい、目やのどの洗浄、衣服に付いた花粉をこまめに落とすことも効果があるという。花粉症対策コーナーを設置したドラッグストアでは立

体マスクの売れ行きが例年通り好調。

一方、県は4月、県森林総合研究所(増穂町最勝寺)などが開発した花粉を出す雄花の少ないスギ約450本を、上野原市内の県有林に初めて植林する。数値目標はないが、今後も順次、植林を進める方針。

<<マスク 解禁>>



花粉に対して毎年有効な事を証明してきたアークフラッシュ加工のマスクが出来ました。アークフラッシュ本部では、マスクを販売して利益を得るのではなく多くの人々に光触媒の有効性と効果を体験して頂きたく安価で供給する事を決定しました。多くのアークフラッシュ施工会員の協力のもとになし得た事でもあります。

本部では、加工するマスクを会員に供給しているので加工を希望する会員は申し出てください。

<<編集後記>>

いよいよ受験シーズンに突入しました。春の花粉症候と並んでインフルエンザの脅威はこれからしばらく続きます。本年の懸念されているインフルエンザは通常のものとは異なりSARSよりも致死率が高いものです。細心の注意と予防を心がけたいものです。

千代田区九段の財界人や著名人が多く利用する医療法人九段クリニックは全館アークフラッシュ施工を行いました。掲示板にはアークフラッシュ施工のポスターが堂々と2枚も掲示されておりました。医療現場の先生にこれほど認められた事は非常に嬉しい事です。

ポスター掲示希望の施設は、施設名を入れて印刷いたしますので本部までご連絡ください。又、ファイルの希望者はパワーポイントのファイルを送付いたします。

* 発行責任者:株式会社アークフラッシュ本部

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～37号までを配信希望の方はメールにて申込ください。